

## 第2章 主題

### <やってみよう8>

(1) おそらく明日雨が降るだろう。

「おそらく～だろう」は「明日雨が降る」という事柄に対する話者の気持ち（推量）を表しています。

(2) 山田さんに子供が生まれるそうだ。

「～そうだ」は「山田さんに子供が生まれる」という事柄を聞いたことがあるという話者の気持ち（伝聞）です。

(3) もしかしたら来年息子がアメリカに留学するかもしれない。

「もしかしたら、～かもしれない」は「来年息子がアメリカに留学する」という事柄に対する可能性を表しています。

(4) きっと円高で石油が安くなるにちがいない。

「きっと～ちがいない」は、「円高で石油が安くなる」という事柄に対する話者の気持ち（確信）を表しています。

(5) 花火大会で熱海の町がにぎやかみたいだ。

「～みたいだ」は「花火大会で熱海の町がにぎやか」という事柄に対する気持ち（推量）を表しています。

(6) どうやら太郎が原宿で花子とコーヒーを飲んだらしい。

「どうやら～らしい」は「太郎が原宿で花子とコーヒーを飲んだ」という事柄に対する気持ち（推量）を表しています。

### <やってみよう9>

(例) お菓子は妹が食べてしまった。 ← 妹が**お菓子を**食べてしまった

「お菓子を」という「～を」の成分が主題となっています。

(1) コンビニではコーヒーが安く買える。 ← コーヒーが**コンビニで**安く買える

「コンビニで」という「～で」の成分が主題となっています。

(2) 私はスポーツが苦手だ。 ← **私が**スポーツが苦手だ

「私が」という「～が」の成分が主題となっています。

(3) お金は山田さんが払ってくれた。 ← 山田さんが**お金を**払ってくれた

「お金を」という「～を」の成分が主題となっています。

(4) 先週は、雨がよく降った。 ← 先週が 雨が よく 降った

時を表す「先週」が主題となっています。

(5) 駅までは、ここからバスが走っている。 ← ここからが 駅まで バスが 走っている

「走る」では通常「～を」が通過点を表しますが、「ここから駅まで」という通過点が表されているために、「～を」は使われません。

(6) 田中さんは、子どもが3人いる。 ← 田中さんに 子どもが 3人 いる

「田中さんに」という「～に」の成分が主題となっています。

### <やってみよう 10>

(1) (を) この机は、3年前に母が購入した。

← 3年前に母がこの机を購入した。

(2) (に) 春は、桜の花が咲く。

← 桜の花が春に咲く。

(3) (に) 彼の結婚は、両親が反対している。

← 両親が彼の結婚に反対している。

(4) (から) サンタクロースの袋は、いろんなプレゼントが出てくる。

← いろんなプレゼントがサンタクロースの袋から出てくる。

(5) (が) 私は、頭が痛い。

← 私が頭が痛い。

(6) (まで) 5時までは、誰かが事務所にいる。

← 誰かが5時まで事務所にいる。

(7) (へ) 小学校へは、息子が通っている。

← 息子が小学校へ通っている。

(8) (が) 昨日は、父の誕生日だった。

← 昨日が父の誕生日だった。

(9) (を) 風呂掃除は、息子がやってくれた。

← 息子が風呂掃除をやってくれた。

(10) (で) 学校は、スマホが禁止されている。

← 学校でスマホが禁止されている。

(11) (の) この間は、先生がごちそうしてくれた。

← この間先生がごちそうしてくれた。

(12) (より) 飛行機よりは、電車のほうが安全だ。

←飛行機より電車のほうが安全だ。

(13) (に/へ) アメリカは、出張で3回行っている。

←出張で3回アメリカに/へ行っている。

(14) (より) 親よりは、先生のほうが厳しい。

←親より先生のほうが厳しい。

(15) (から) その水道は、水が出ない。

←その水道から水が出ない。

(16) (で) その公園は、子供がいつも遊んでいる。

←その公園で子供がいつも遊んでいる。

(17) (と) 中国とは、アメリカが争っている。

←アメリカが中国と争っている。

(18) (まで) その会場は、最寄駅からシャトルバスが走っている。

←最寄駅から会場までシャトルバスが走っている。

「走る」では通常「～を」が通過点を表しますが、「最寄り駅から会場まで」という通過点が表されているために、「～を」は使われません。

(19) (φ) 昨年は、台風がたくさん日本に来た。

←昨年φ台風がたくさん日本に来た。

(20) (を) 電球は、エジソンが1879年に発明した。

→エジソンが1879年に電球を発明した。

(21) (に/が) 私は、ピアノがひける。

←私に/がピアノがひける。

(22) (で) 京都は、毎年8月に大きな祭が行われる。

←毎年8月に大きな祭が京都で行われている。

(23) (が) 太郎は、絵がうまい。

←太郎が絵がうまい。

(24) (と) 次郎とは、太郎がいつも遊んでいた。

→太郎が次郎といつも遊んでいた。

### <やってみよう 11>

(1) 「物価」について、スイスが高い、ポーランドが安い

物価は、スイスは高いが、ポーランドは安い。

(2) 「私」について、その人を知っている、あの人を知らない

わたしは、その人は知っているが、あの人は知らない。

- (3) 「東京」について、人が多く、自然が少ない  
東京は、人は多いが、自然は少ない。
- (4) 「京都」について、夏が暑い、冬が寒い  
京都は、夏は暑い、冬は寒い。
- (5) 「今度のパーティ」について、山田さんと呼んだ、田中さんと呼ばなかった  
今度のパーティは、山田さんは呼んだが、田中さんと呼ばなかった。

### <やってみよう 12>

(例) 「太郎が花子とデートしている」のを見て → あつ、太郎が花子とデートしている！  
事実描写の「～が」です。

- ① 「このパン屋では何が一番人気ですか」と聞かれて → アンパンが一番人気です。  
多くのパンの中から選んでいるので、強意の「～が」になります。
- ② 「雪が降ってきた」のを見て → あつ、雪が降ってきた！  
雪が降っている事実を客観的な事柄で表しています。
- ③ 「誰が学生ですか。」と聞かれて → あの人が学生です。  
強意の「～が」です。
- ④ 「車と車がぶつかった」のを見て → あつ、車と車がぶつかった！  
車がぶつかった事実を客観的な事柄で表しています。
- ⑤ (風が強くて) 「木が揺れている」のを見て → あつ、木が揺れている！  
木が揺れている事実を客観的な事柄で表しています。

### <やってみよう 13>

(例) 天皇陛下 (は) 日本国民の統合の象徴である。  
天皇陛下は誰もが知っている一般的な情報なので、「～は」が使われます

- (1) すごい！空 (が) 夕焼けで真っ赤になっている。  
外の風景をそのまま相手に伝えているので、事柄だけで表しています。
- (2) 日本 (は) 昔から自然災害の多い国である。  
日本は誰もが知っている一般的な情報なので「～は」が使われます。
- (3) アインシュタイン (は) 偉大な物理学者だった。  
「アインシュタイン」は誰もが知っている有名な学者なので「～は」が使われます。
- (4) 急いでください。もう電車 (が) 来ているよ。

「電車が来ている」という事実を相手に伝えているので、主題ではなく事柄で表されています。

(5)小林先生（は）授業の時（は）優しいが、テストの時（は）厳しい。

最初の「～は」は「田中先生」について述べているので主題の「～は」、「授業の時」と「テストの時」の「～は」は比較されているので、対比の「～は」となります。

(6)「たくさん子供が遊んでいますね。」「赤い帽子の少年（が）私の息子です。」

たくさんの子供の中から、赤い帽子の少年を選んでいるので、強意の「～が」です。

## 第2章のまとめ

### <問題1>

(1)あの交差点は事故がよく起こる。

で

← 事故があの交差点でよく起こる。

(2)買い物はスーパーが便利だ。

に

← スーパーが買い物に便利だ。

(3)パリはロンドンから高速鉄道が運行している。

まで

← ロンドンからパリまで高速鉄道が運行している。

(4)エレンとは一緒に旅行したことがある。

と

← エレンと一緒に旅行したことがある。

(5)沖縄からは多くの人がブラジルに移住した。

から

← 多くの人が沖縄からブラジルに移住した

(6)台湾よりはインドネシアのほうが暑い。

より

← 台湾よりインドネシアのほうが暑い。

### <問題2>

(1)見てごらん。富士山の上に丸い雲（が）かかっている。

外の風景をそのまま相手に伝えているので、事柄だけで表されます。

(2)太郎（は）勉強（は）苦手だが、運動（は）得意だ。

「太郎」は主題の「は」が、「勉強」と「運動」は比較されているので、対比の「は」が使われます。

(3)日本の映画監督の中で「黒澤明」（が）一番有名だ。

多くの映画監督の中から「黒澤明」を選んでいるので強意の「が」が使われます。「黒澤明」は誰もが知っているという点で古い情報ですが、強意として「～が」

を使うことができます。

(4) 中国 ( は ) 世界で一番人口が多い。

中国は誰もが知っている一般的な情報なので、主題の「は」が使われます。

(5) 「この中に誰か医者はいないか」「鈴木さん ( が ) 医者だ。」

クラスの人の中から医者を選んでいるので、強意の「が」が使われます。質問者が鈴木さんを知っていたとしても、「鈴木さんが医者だ」という強意の意味で使われます。

## 2. 確認クイズ (10分)

### 【問題1】

(1)で あの美術館は以前展覧会が開かれた。 ← あの美術館で以前展覧会が開かれた。

(2)と その人とは私の友人が一緒に仕事をしていた。

← 私の友人が その人と一緒に 仕事をしていた。

(3)が 花子はカラオケが得意だ。 ← 花子がカラオケが得意だ。

(4)を あのオモチャは子供が壊した。 ← 子供が あのオモチャを壊した。

(5)から その花瓶は水がもれている。 ← 水が その花瓶からもれている。

(6)に その川は魚が全然いない。 ← 魚が その川に全然いない。

(7)に 日本の生活は私も妻も満足している。

← 私も妻も 日本の生活と満足しています。

(8)が 庭掃除は夫の仕事だ。 ← 庭掃除が夫の仕事だ。

(9)より (私の) 妻よりは娘のほうが家庭的だ。

← (私の) 妻より 娘のほうが 家庭的だ。

(10)まで 駅までは父がいつも歩いている。

← 父が 駅までいつも歩いている。

「歩く」は通常通過点が「～を」で表されますが、「駅まで」という表現で通過点が含まれるので、ここでは「～を」が使われていません。

### 【問題2】

(1)空を見ていた太郎が、「あっ、飛行機 (① が ) 飛んでいる！」と叫んだ。

外の風景をそのまま相手に伝えているので、事柄だけで表されています。

(2)ジムは日本食 (② は ) 苦手だが、中華料理 (③ は ) 食べられるそうだ。

「日本食」と「中華料理」を比較しているので、対比の「は」が付きます。

(3) 先生：このクラスにアフリカからの留学生がいませんか？

学生：ピティアさん (④ が) スーダンから来ています。

クラスの学生の中から「ピティアさん」を選んでるので、「強意」の「が」が使われます。

(4) 花子：由美さんは何が好きですか？

由美：私 (⑤ は) フルーツ (⑥ が) 好きです。

「私がフルーツが好きだ」という事柄の表現から「私が」が主題となっています。したがって、「私」には主題の「～は」が、「フルーツ」には、そのまま「～が」が入ります。

(5) 窓の外を見てごらん。紅葉 (⑦ が) とてもきれいだよ。

紅葉の美しさをそのまま相手に伝えているので、事柄が使われています。

(6) 地球 (⑧ は) 太陽の周りを回っている。

「地球」は一般的概念なので、主題の「～は」が使われます。「～が」で表すと、事実の表現になりますが、誰もが知っている事実なので、そのような事実を伝えるのは変です。もし、そのまま「地球が太陽の周りを回っている」と言うと、強意の意味が生じます。

(7) カナダ (⑨ は)、夏は涼しいが、冬 (⑩ は) とても寒い。

「カナダ」は主題の「は」が、「夏」と「冬」は比較されているので、対比の「は」が使われます。

## 「どれくらいできる? (第2章)」の解説

(1) (○) 君よりは僕のほうがまじめだ。

「君より僕のほうがまじめだ」という事柄の表現から「君より」が主題となった文です。

(2) (○) スポーツが得意な和也は勉強は苦手だ。

「スポーツが得意な和也は」は主題、「勉強は」は対比を表しています。もう一つの対比は省略されていますが、「勉強は苦手だが、スポーツは得意である」という意味合いになります。したがって、正しい文です。

(3) (○) コーヒーにはカフェインが入っている。

「カフェインがコーヒーに入っている」という事柄の表現から「コーヒーに」が主題となった文です。

- (4) (○) その公園は子供がいつも遊んでいる。  
「子供がいつもその公園で遊んでいる」という事柄の表現から「その公園で」が主題となった文です。
- (5) (○) 次郎とは太郎が兄弟だ。  
「太郎が次郎と兄弟だ」という事柄の表現から「次郎と」が主題となった文です。
- (6) (×) 都会は田舎のほうが暮らしやすい。(都会は→都会よりは)  
「都会より田舎のほうが暮らしやすい」という事柄の表現から「都会より」が主題となった文ですが、「より」がないと意味不明となるため、「都会よりは」とすべきです。
- (7) (○) 札幌までは羽田から直行便が飛んでいる。  
「羽田から札幌まで直行便が飛んでいる」という事柄の表現から「札幌まで」が主題となった文です。「飛ぶ」は通常「～を」が通過点を表しますが、ここでは、「羽田から札幌まで」が通過点を表しています。
- (8) (○) 台湾からは多くの観光客が日本を訪れる。  
「台湾から多くの観光客が日本を訪れる」という事柄の表現から「台湾から」が主題となった文です。
- (9) (○) 最近の子どもは肉は好きだが魚は嫌いだ。  
「最近の子どもは」は主題、「肉は」と「魚は」は対比を表しています。
- (10) (○) その小学校では挨拶運動が盛んだ。  
「挨拶運動がその小学校で盛んだ」という事柄の表現から「その小学校で」が主題となった文です。
- (11) 外を見てごらん。雨(が)急に降ってきた。  
事柄の表現で今見ている事実を相手に伝えています。
- (12) あれっ、太郎(が)外国人と話している。  
事柄の表現で少し驚いた事実を相手に伝えています。
- (13) 日本食の中でラーメン(が)一番おいしい。  
強意の「～が」です。日本食の中から「ラーメン」を選んでいきます。
- (14) イエス・キリスト(は)キリスト教の教祖だ。  
「イエス・キリスト」は誰もが知っている一般的な情報です。したがって、主題の「～は」が付きます。
- (15) 沖縄は暑いが北海道(は)寒い。  
「沖縄」と「北海道」は比較されています。したがって、対比の「～は」が付きます。



す。